

岐阜県少年少女空手道選抜大会 令和7年度 岐阜県キッズ空手道大会

競技細則

形競技

- ・ ベスト8までは**フラッグ制**で2人同時に演武。ベスト8からは**得点制**で行い、1人ずつ演武する。(参加者が15名以下の場合、ベスト4までは**フラッグ制**で行い、ベスト4からは**得点制**で行う。)
- ・ 2人同時演武の際の判定はコートの中にて行う。勝者のコールは主審が行う。
- ・ 2人同時演武の際は主審の旗の振り下ろしの合図で開始する。
- ・ 演武の際の礼は形演武開始前と終了後、結果判定後の計3回。
- ・ 幼児(年長)のみ決勝まで全試合フラッグ制で行う。
- ・ ベスト8からの得点制は4人ずつG1・G2の2グループに分かれ、1位から4位まで得点を付ける。各グループの1位同士が対戦し、決勝戦を行う。各グループの2位同士が対戦し、3位決定戦を行う。
- ・ 参加人数が15名以下の場合、ベスト4からの得点制はG1・G2の2グループに分かれ得点をつける。各グループの1位同士が対戦し、決勝戦を行う。各グループの2位同士が対戦し、3位決定戦を行う。
- ・ 試合が連続する場合、2分間の休みを取る。その際、時計は前試合の勝敗判定後からスタートする。赤青が変わる場合でも2分間とする。

小学生全学年 男女とも	幼児(年長)、小学1~2年	小学3~6年
ベスト16(または8)以下	撃砕1・2、平安またはピンアン初~5段 (形の繰り返し可能)	撃砕1・2、平安またはピンアン初~5段 (形の繰り返し可能)
ベスト8(または4)から	全空連第1指定形および第2指定形 または基本形(形の繰り返し可能) * ベスト16(8)までの形も使用可能	全空連第1指定形および第2指定形 または基本形でまだ演武していない形 (形の繰り返し可能)

- * 赤帯・青帯は全空連指定の帯とするが、赤帯・青帯の代わりに、防具メーカーの赤・青の競技紐の使用も可。但し各自準備する事。幼児は自分の級の帯で出場可。(県連の赤と青の競技紐を使用するため)

組手競技

		予選から決勝戦まで全試合
競技時間と得点	幼児(年長)男女	1分フルタイム 6ポイント差
	小学生男女	1分30秒フルタイム 6ポイント差

- ・ 試合が連続する場合2分間の休みを取る。その際、時計は全試合の勝敗決定後からスタートする。赤青が変わる場合は3分間とする。

使用防具 男女とも	1~2年	3年	4年	5~6年
メンホー(VI、VIIのみ使用可能)	必ず着用(ミズノマークがあるものに限る)			
拳サポーター	全空連指定品のリーバーシブルのみ可			
ボディープロテクター	全空連指定品を道着の中に着用			
ファルカップ(男子のみ)	どちらでも可能	必ず着用		
インステップガード・シンガード	全空連指定品を必ず着用。白色のみ使用可能			

- * 赤帯・青帯は全空連指定の帯とするが、赤帯・青帯の代わりに、防具メーカーの赤・青の競技紐の使用も可。但し各自準備する事。幼児は自分の級の帯で出場可。(県連の赤と青の競技紐を使用するため)

団体形競技

- ・ 団体チームメンバーは男女別、4年生から6年生の3人制で編成する
- ・ 各所属団体につき男女各1チームのみエントリーできる(所属団体をまたいでのチーム編成は可)
- ・ チーム登録メンバーは4人まで登録可。その中から3名が試合に出場する。
- ・ 各会派の基本型(平安・ピンアン・ゲキサイ)で予選も決勝・順位決定戦も行う(形の繰り返しは可)
- ・ 全試合得点制で行い、1チームずつ演武する。1位通過のチームが本選出場権を獲得出来る

小学生4～6年(3人制)	男子	女子
予選、決勝・順位決定戦(得点)	撃砕1・2、平安・ピンアン初～5段	撃砕1・2、平安・ピンアン初～5段

- * 赤帯・青帯は全空連指定の帯とするが、赤帯・青帯の代わりに、防具メーカーの赤・青の競技紐の使用も可。但し各自準備する事。

競技にあたっての補足事項

- ① 名前を呼ばれたチームはコートに入場し、形開始時の礼をする。
- ② 演武する形の名称を呼称後、各チームのタイミングで形を開始する。
- ③ 形の終了後、終了時の礼をする。
 - * **形開始前・終了後の号令などはルール上減点となるため行わない事**
- ④ 得点が発表された後、礼をしてコートを出る。
 - * 必要な礼は形開始前・終了後、得点発表後の礼の3回。そのうち**形開始前・終了後の礼がないチームは反則**となる。礼はチーム全員で正面を向き、全員揃って正しく行う。

本大会は監督なしで行う

ただし、**幼児のみ選手1名につき引率者1名の入場を許可**する
(競技中のみ入場可。競技が終わり次第、速やかに退出する事)